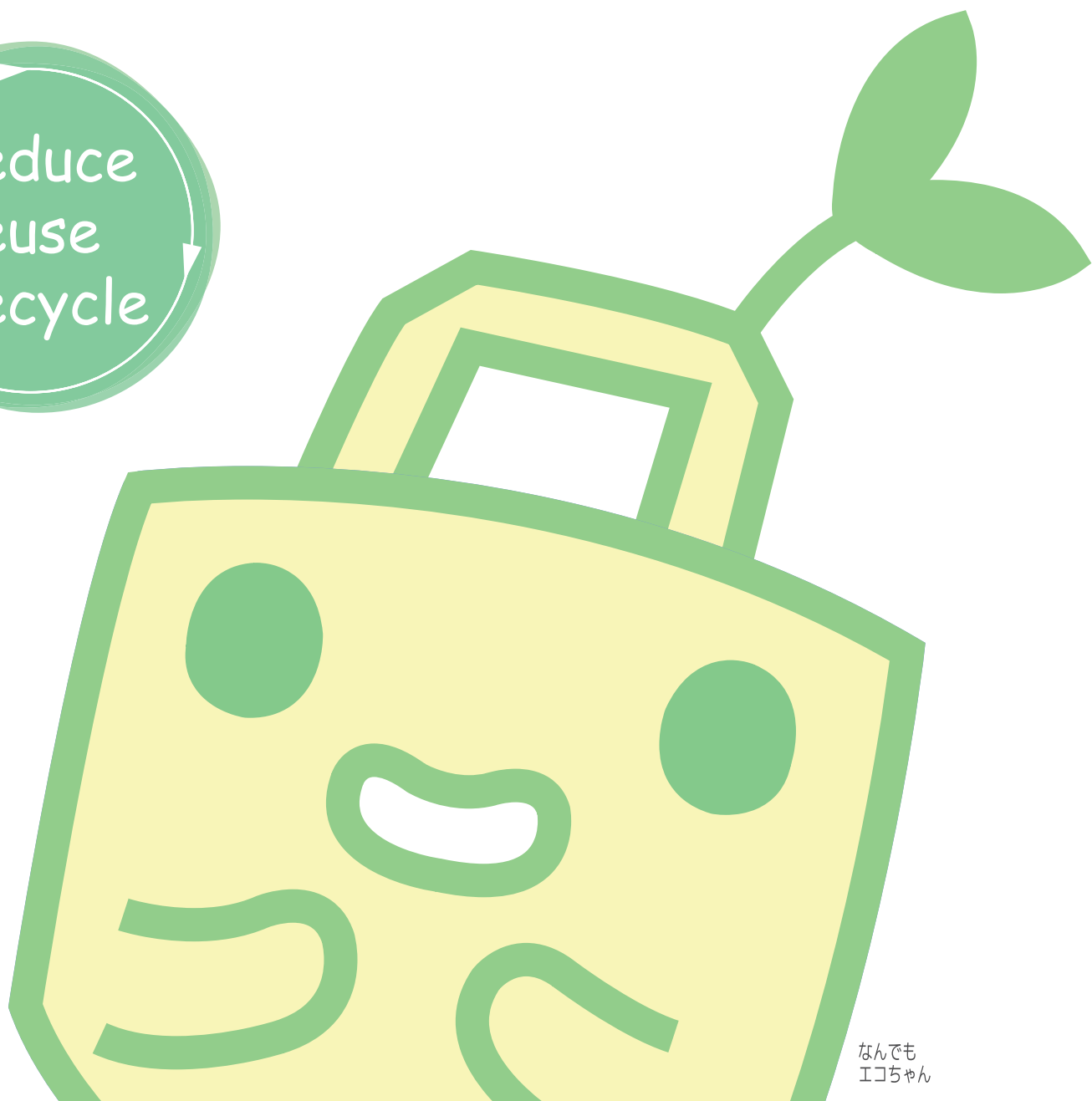




なんでも
エコちゃん

金沢市ごみ処理基本計画(第5期)の概要

平成27年3月 金沢市環境局

ごみ処理基本計画とは



金沢市が長期的視野に立ち、適正で効率的なごみ処理を進めるための計画です。

ごみ量の現状（平成25年度）

ごみ総排出量

175,676 t/年

家庭系ごみ排出量

106,256 t/年

事業系ごみ排出量

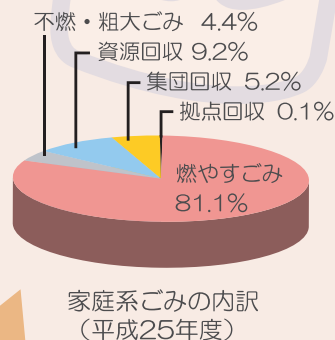
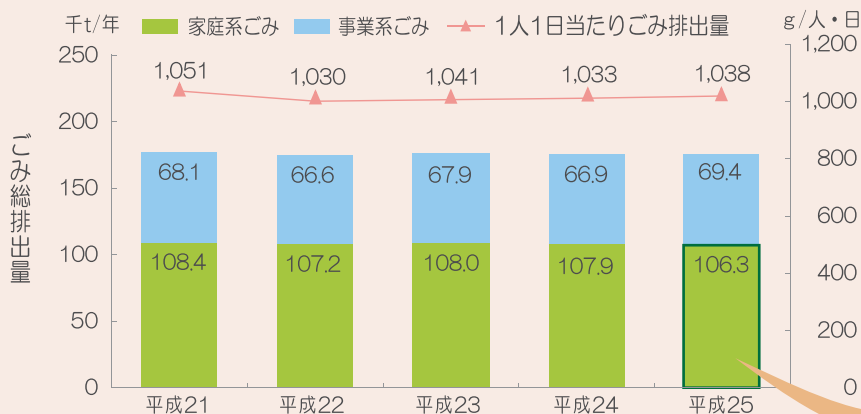
69,420 t/年

1人1日当たりごみ排出量

1,038 g/人・日

参考値

中核市平均値（平成24年度）
1,010 g/人・日



資源化率

11.7 %

総資源化量

20,477 t/年

家庭系ごみ資源化量

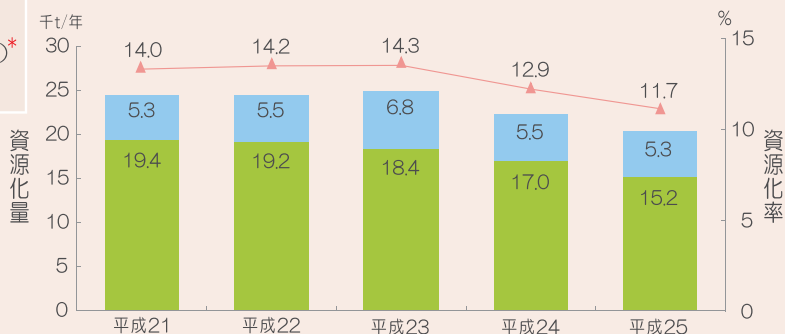
15,162 t/年

事業系ごみ資源化量

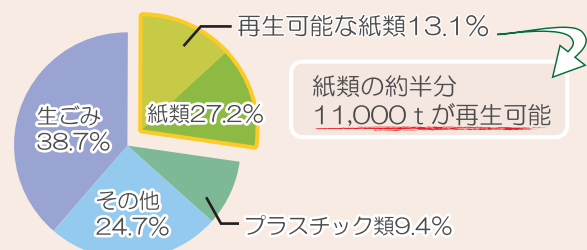
5,315 t/年

参考値
中核市平均値（平成24年度）
19.5 %

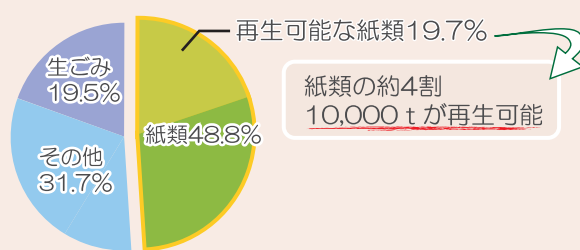
■ 家庭系ごみ
■ 事業系ごみ
▲ 資源化率



燃やすごみの内訳



家庭系燃やすごみ **86,180 t/年**



事業系燃やすごみ **51,324 t/年**

計画の範囲

ごみ(一般廃棄物)の減量と分別による資源化、収集運搬、中間処理、最終処分、施設整備について計画するものです。

計画期間

平成27年度～平成41年度とし、概ね5年ごとに見直すものとします。

ごみ処理の現状（平成25年度）

燃やすごみ量

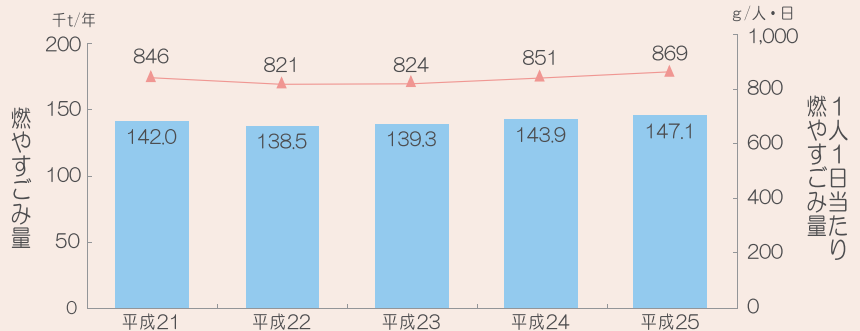
147,090 t/年

市民1人1日あたりでは

869 g/人・日

燃やすごみ量

1人1日当たり燃やすごみ量



ごみ処理に係る温室効果ガス排出量

87,583 tCO₂/年

市民1人1日あたりでは

517 gCO₂/人・日

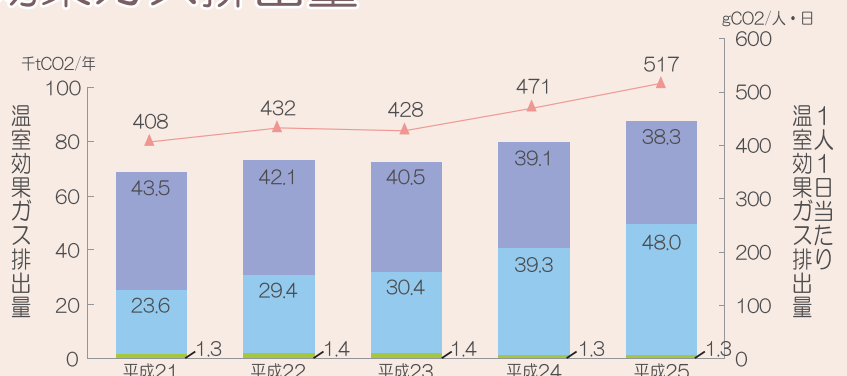
収集過程

中間処理過程

最終処分過程

(焼却処理や資源化処理)

1人1日当たり温室効果ガス排出量



ごみ処理経費

施設整備に係る経費を除く

約 40 億円

市民1人あたりでは

8,629 円/人

収集運搬部門

中間処理部門

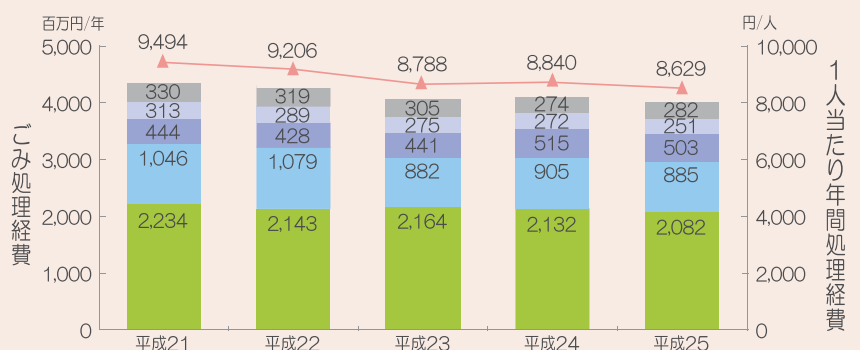
最終処分部門

(焼却処理)

資源化部門

管理部門

1人当たり年間処理経費



ごみ処理に関する課題

●ごみの減量と資源化に向けた取り組みの強化が必要です。

本市のごみ排出量は、1人1日当たりでみると、中核市平均を上回る水準にあります。

また、燃やすごみの中に含まれている、再生可能な紙類の資源化などを通じて、資源化率を向上させる取り組みも必要です。

●高齢化や人口減少など社会情勢の変動に対応したごみ処理体制が必要です。

超高齢化社会の到来に対応して、ごみ出しが困難な家庭へのケアが求められています。

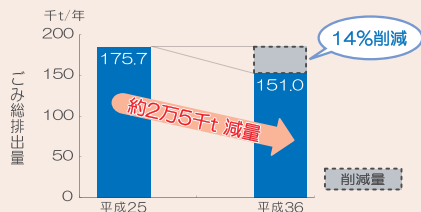
人口減少に対応して、限られた財源を有効に使い、適正で安定したごみ処理を継続できる体制づくりが必要です。

ごみの減量と資源循環による持続可能な社会の実現

数値目標 ごみの減量化と資源化に向けた数値目標を設定し、平成36年度までの目標達成を目指します。

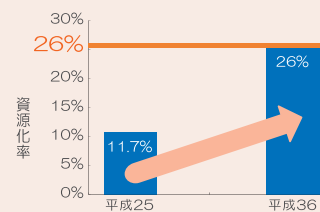
目標① ごみ総排出量

平成25年度 17万5,700t
 (1人1日当たり1,038g) → 平成36年度 **15万1,000t(1人1日当たり910g)**



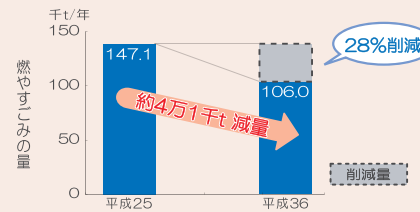
目標② 資源化率

平成25年度 11.7% → 平成36年度 **26%**



目標③ 燃やすごみの量

平成25年度 14万7,100t
 (1人1日当たり869g) → 平成36年度 **10万6,000t**
 (1人1日当たり638g)



基本方針

主な取り組み

1 市民・事業者との協働によるごみの減量

市民・事業者が積極的にごみの減量化に取り組み、環境負荷の低減やごみ処理費用の削減を図るための施策を計画的に推進します。

- 家庭ごみの有料化について、市民の皆様のご意見を踏まえ検討します。
- 生ごみ、紙ごみの減量化を推進します。
- ごみの減量に取り組む人材の育成や、市民団体、事業者等の活動を支援します。
- 環境教育や普及啓発を充実します。

2 分別の徹底と再利用、再生利用の促進

これまで市が率先して行ってきた資源化施策に加え、民間事業者との連携により資源化率の向上を図ります。

- 古紙回収事業者との連携による紙類の資源化や、スーパーマーケット等を活用した資源回収拠点づくりなどに取り組みます。

3 適正で効率的なごみ処理体制の再構築

ごみの発生量や性状に合わせた適正で効率的な収集・運搬・処理体制の再構築を図り、将来を見据えた施設整備を推進します。

- 高齢者や障害を持った方にやさしい戸別収集制度の導入のほか、ごみの収集や処理の効率化を進めます。
- 不法投棄防止対策やごみステーションからの金属類持ち去り対策を強化します。

4 地球温暖化対策の強化

廃棄物処理システムの改善による創エネルギーや省エネルギーの取り組みを進め、地球温暖化対策を強化します。

- 木くずのバイオマス燃料化や、ごみ焼却施設のエネルギー利用効率の向上など、エネルギー利用を見直すことにより、ごみ処理過程の地球温暖化防止対策を進めます。

みんなで取り組もう 3R

Reduce ごみを減らす（発生抑制）
Reuse 繰り返し使う（再使用）
Recycle 再び資源として利用（再生利用）



生ごみ削減

燃やすごみにたくさん出されている生ごみを減らしましょう。

発生抑制

まずはごみを出さない暮らしや活動を心がけましょう。

再使用 再生利用

ごみにする前に繰り返し使いましょう。
ごみの分別を徹底し、再生利用できるように努めましょう。

紙類 再資源化

ごみの中にまだ資源があります。
新聞やダンボールなどは、集団回収を利用しましょう。



Reduce

循環型社会の形成

Thermal Recycle Recycle

Reuse

この計画の達成には、市民・事業者の皆さまのご協力が必要です。
積極的にごみの減量化と資源化に取り組みましょう。

平成27年3月 発行



金沢市環境局環境政策課

住所 : 〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL : (076) 220-2304 FAX : (076) 261-7755

E-mail : kansei@city.kanazawa.lg.jp